

# 1-4

## 24時間シートの導入とそこで見えてきたもの

私の暮らしとみんなの暮らし

ユニットケア

情報共有

特別養護老人ホーム 至誠キートスホーム

介護職員 川畑 篤子	介護職員 山崎 靖予
TEL : 042-538-2323	介護職員 小西 梨奈
	E-mail : shisei-kiitos@shisei.or.jp
FAX : 042-538-2324	URL : http://www.shisei.or.jp/

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	特養70床、ショートステイ20床、通所介護、訪問介護、地域包括支援、居宅サービス支援センターを併設している。また、特養、ショートステイでは、2000年4月の開設時より、ユニットケアに取り組んでいる。
----------------------------	---

<p>〈取り組んだ課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>24時間シートを導入し、運営する。</li><li>情報収集・情報共有</li></ul> <p>〈具体的な取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ プロジェクトチーム（個別ケア推進委員会）を設立。 →24時間シートを導入することの意義について検討し、定着させるための枠組み（更新方法など）作りを実施。</li><li>○ 施設内にて勉強会を実施。 →24時間シートの概要、定義、施設内での位置づけ、基本的なルール作り、語句等の簡単な規定、記入例の作成などを実施。</li><li>○ 一定期間にて全入居者分を作成。</li><li>○ 作成したときの意見を基に再検討。 →語句の規定の見直しや、更新方法の再検討。</li><li>○ 施設内にて2回目の勉強会の実施。</li><li>○ ケアプランに合わせた更新の実施。</li></ul>	<p>〈活動の成果と評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>24時間シート作成過程を通して、職員の個別ケアに対する考えが深まった。</li><li>新入居の利用者に対して、24時間シートを作成したことで、短期間で本人の意向や好みがかめ、結果、本人にあったケアが提供できた。</li><li>入退院によるADLの変化に対する客観的な比較とケアの統一を図るための情報収集元となった。</li><li>新職員や異動職員に対する情報収集元となった。</li><li>ケアプランのアセスメントツールとして活用出来た。</li></ul> <p>〈今後の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>記入の仕方、更新方法は決まっているが、現状では定着しきれていない。より簡単に既存の業務に差し支えなくするための方法を検討していく必要がある。</li></ul>
---	---

【メモ欄】